

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年11月20日(2014.11.20)

【公表番号】特表2012-501699(P2012-501699A)

【公表日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-004

【出願番号】特願2011-525457(P2011-525457)

【国際特許分類】

A 6 1 J 1/00 (2006.01)

B 6 5 D 77/30 (2006.01)

B 6 5 D 30/10 (2006.01)

B 6 5 D 33/00 (2006.01)

A 6 1 M 37/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 J 1/00 3 7 0 Z

B 6 5 D 77/30 C

B 6 5 D 30/10 N

B 6 5 D 33/00 C

A 6 1 M 37/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年9月29日(2014.9.29)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 7】

本発明の側面を封止した袋の把持および引裂開放補助は、対にした際に表面が相補的な(surface-complementary)タブを形成する。これは、2つの合同な、側面を封止した袋のタブが、表面が相補的な方式で並んで配置され、四角形の表面領域、即ち長方形または正方形の表面領域を形成することができることを意味する。これを、非対称に、かつ偏心させて側面を封止した袋にタブを配置することによって達成することができる。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 1】

この把持補助は、表面が相補的なタブである。これは、2つの合同な、側部が封止された袋のタブが、表面が相補的な方式で並んで配置され、四角形の表面領域を形成することができることを意味する。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 5 1】

タブを、表面相補的であるように構成し、その結果、2つの合同な、側部が封止された

袋のタブが、対にすることによって相補的に並んで配置され、四角形の表面領域を形成するようにすることができる。

【誤訳訂正４】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００７２

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００７２】

本発明の側部が封止された袋の把持補助および引裂開放補助は、対にした際に表面が相補的なタブである。これは、２つの合同な、側部が封止された袋のタブを、それらを表面が相補的な方式で並んで配置して、四角形の表面領域を形成することが可能であることを意味する（図５Ａ～５Ｄ、図６）。これを、タブを側部が封止された袋上に非対称的に、かつ偏心させて配置することによって達成することができる。